《施設のレシピ》リハステーションゆすの人気メニューレシピ！ *Recipe!*

肉団子の甘酢あん

＼きくらげ・椎茸が入っているので、ビタミンDや食物繊維が摂れます。／

■エネルギー 301kcal　■食物繊維 3.0g

材料（1人分）

- ●豚ミンチ …… 70g
- ●玉葱 …… 約1/5玉（40g）
- ●きくらげスライス …… 0.5g
- ●人参 …… 約1/10本（15g）
- ●白菜 …… 約2枚（50g）
- ●干ししいたけ …… 1枚（1g）
- ●卵 …… 適量
- ●塩 …… 少々
- ●油 …… 適量
- A ○砂糖 …… 小さじ1（3g）
- A ○濃口しょうゆ …… 小さじ1（6g）
- A ○コンソメ …… 適量
- A ○穀物酢 …… 小さじ1（6g）
- A ○片栗粉 …… 適量
- ●チンゲン菜 …… 約1/3株（50g）

《作り方》

①.きくらげスライス、干ししいたけは、水に浸し戻しておく。
②.チンゲン菜は水でよく洗い、1つの葉を2～3つぐらいに分け、沸騰したお湯で茹でる。色が鮮やかになったら氷水に取り上げ、冷めたら絞って水けをとる。
③.玉葱、人参、白菜、きくらげスライス、干ししいたけは、すべてみじん切りにする。
④.熱したフライパンで③を炒める。火が通ったらザルにあげ、重しをして汁気を切りながら冷ます。
⑤.④が冷めたらボウルに移し、豚ミンチ、卵、塩を加え、よく混ぜ合わせる。一口大よりやや大きめに丸めて肉団子を作る。
⑥.丸めた肉団子⑤を、170～180℃に熱した油で揚げる。
⑦.A調味料をすべて混ぜ合わせて火にかけ、水で溶いた片栗粉でとろみをつけ甘酢あんを作る。
⑧.②のチンゲン菜と、⑥の肉団子を器に盛り、⑦の甘酢あんをかける。

●リハステーションゆす　栄養士　大知加奈

ちょっと気になるニュース

『手作り玩具のキッチン』を寄贈していただきました！

3月下旬に徳田様より若葉学園の子ども達に、手作り玩具のキッチンをいただきました。場所を決め、いざ設置するとすぐにキッチンの周りに集まっては興味津々で見ている子ども達。「すごーい！」「早く使いたい」「もう遊んでいい？」等の声が聞こえてきました。子ども達の表情や言動から、待ちきれない様子がとてもよく伝わってきました。

友達と交代でお店屋さん役をしたり、お客さん役をしたりと約束を守り仲良く遊ぶ姿がありました。お店屋さん役の子どもは、三角巾をつけてエプロンを着用し、「何が食べたいですか～」「ちょっとお待ちください」と店員さんになりきって遊ぶ、微笑ましい光景がありました。大喜びで遊んでいる姿を見て職員も嬉しい気持ちになりました。子ども達が、ありがとうの気持ちを持ってこれからも使ってくれると良いなと思います。子ども達のために作ってくださり、本当にありがとうございました。

おめでとう！

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰
- ●岩﨑 里美（川内自興園）
- ●井上 眞理子（ゆすの里）

鹿児島県知事表彰
全国社会福祉協議会会長表彰
- ●堀之内 満（川内自興園）
- ●諏訪免 陽子（若葉学園）

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰
- ●盛喜 清美（婦人保護施設）
- ●中俣 美香（ゆすの里）

鹿児島市社会福祉功労者表彰
- ●髙岡 優子（鹿児島みなみ保育園）

薩摩川内市社会福祉協議会会長表彰
- ●水口 親市（川内自興園）

鹿児島県社会福祉事業団永年勤続表彰
- ●中峯 みどり（仁風学園）

長きに亘り社会福祉の向上に取り組み貢献したことに対し、その功績が表彰されました。

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔 HISHO

Vol.66
―2024年1月―

同胞保育園
生活発表会の練習の様子

太鼓は、同胞保育園の卒園生であるプロゴルファーの勝みなみ選手からの寄付金で購入させていただきました。演奏した楽曲は、平成12年に閉園した児童養護施設霧島学園で演奏されていたものをアレンジして当時学園に勤務していた職員が指導し、同胞保育園へと引継がれました。

CONTENTS

理事長あいさつ …… P02
【特集】地域における公益的な取組を紹介します！ …… P04
ねっとわーく ～施設の窓から～ …… P06
ふくしのおしごと・シリーズ人 …… P10
簡単レシピ　他 …… P12

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町１番７号 鹿児島県社会福祉センター４階
TEL 099-257-7667　FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp　URL https://kagoshima-swc.jp

新年を迎えて

理事長　下村 一彦

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げます。

昨年、本県において、全国高等学校総合文化祭、国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会など、全国レベルの大規模なイベントが開催されたことは大変喜ばしく、コロナ禍以前の社会活動や日常生活に戻れることを期待しています。一般的には、新型コロナへの警戒感は薄らいでいますが、施設運営上は、新型コロナを含む感染症対策に十分留意する必要があることに変わりはないところです。

さて、現在、当事業団が設置経営している施設及び事業所は10箇所であり、この他、運営を受託している事業所が3箇所あります。令和5年3月末に養護老人ホーム慈眼寺寿光園を閉園したことにより、高齢者福祉分野が手薄になりましたが、児童福祉、障害福祉、母子及び女性福祉と幅広い分野を対象として支援やサービスを提供しています。

このことは、事業団の魅力であり、特色ですが、それぞれの福祉分野にはそれぞれに必要な専門的スキルがあり、そのスキルを獲得するためには多くの知識と経験が必要となることから、職員にとっては厳しい側面があることも事実です。それでも、職員はお互いにコミュニケーションを図りながら、日々の業務に真摯に取り組むとともに、専門部門の研修やOJT、コンサルテーションなども通して専門的スキルの獲得に努め、着実に福祉の専門職として成長しています。今後とも、事業団としては職員こそが宝であるとの考えのもと、職員が働きやすい環境をできる限り整えるとともに、職員の資質の向上に努めてまいります。

現状において、事業団の収支状況は必ずしも良いとは言えませんが、その要因は「慈眼寺寿光園の閉園」と「仁風学園の全面改築工事」に伴う経費が一時的に必要であったことによるものであり、現状を乗り越えれば、収支は好転すると確信しています。しばらくは、新規投資による事業拡大は難しいと考えますが、この時期だからこそ、「職員個々の福祉専門職としてのレベルアップ」及び「各施設における専門性の蓄積」に力を傾注してまいります。また、婦人保護施設は、本年4月から施行される「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、名称は「女性自立支援施設」に変更され、新たな方針により運営されることから、県の基本計画に沿って適切に運営していきたいと考えています。

新しい年を迎え、事業団としましては、これまでの各施設における取組の成果を生かしつつ、慈眼寺寿光園の閉園というつらい経験も踏まえながら、全職員が一体となって、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮した質の高いきめ細やかなサービスと安心・安全な生活環境・利用環境を提供するとともに、「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2022」に沿って事業団の持続的発展を目指してまいりますので、関係者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

報告

理事会

■令和5年6月8日
○議案第1号　令和4年度事業報告について
○議案第2号　令和4年度計算関係書類及び財産目録について
○議案第3号　鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正について
○議案第4号　基本財産の処分について
○議案第5号　理事及び監事候補者の選定について
○議案第6号　評議員会の招集並びに目的である事項等について
■令和5年6月26日
○議案第1号　理事長の選定について
○議案第2号　常務理事の選定について
■令和5年9月8日
○議案第1号　慈眼寺寿光園解体工事請負契約について
■令和5年11月30日
○議案第1号　令和5年度第一次収入支出補正予算について
○議案第2号　鹿児島県社会福祉事業団 職員希望降格規程の制定について
○議案第3号　鹿児島県社会福祉事業団 職員給与規則の一部改正について

評議員会

■令和5年6月26日
○議案第1号　令和4年度計算書類及び財産目録について
○議案第2号　鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正について
○議案第3号　基本財産の処分について
○議案第4号　理事及び監事の選任について

令和5年度事業団職員研修

事業団全体研修
※新型コロナウイルスの影響のため、中止

階層別研修

幹部職員研修

【令和5年7月25･26日】
(内容)
1．理事長訓話
2．メンタルヘルス･ハラスメントについて
　講師:鹿児島産業保健総合支援センター　勝田 正志 氏
3．人材育成計画に基づく評価制度について
4．人材育成力･確保力アップセミナー
　講師:㈱九州経済研究所　野中　千尋　氏
　①部下を育てるアンガーマネジメント&叱り方
　②チームレジリエンスの高い組織づくり
　③求める人材確保に向けた面接力アップ
5．計算書類について

新任幹部職員研修

【令和5年7月11～12日】
■1日目
㈱九州経済研究所
「管理職実力養成コース」受講
■2日目
1．理事長訓話
2．メンタルヘルスについて
　講師:鹿児島産業保健総合支援センター
　勝田 正志 氏
3．人事評価制度について
4．財務･会計について
5．労務管理の基礎等について
　講師:石塚社会保険労務士事務所
　石塚 昭子 氏
6．受講者による2分間スピーチ

新任主査研修

【令和5年8月21～22日／12月6～7日】
㈱九州経済研究所「管理職基礎コース」受講

新任主任研修

【令和5年8月17日】
(内容)
1．理事長訓話
2．メンタルヘルス(セルフケア)について
3．財務･会計の基本について
4．リーダーシップ養成
　講師:㈱九州経済研究所
　中島 文作 氏
　①リーダーシップとは何か
　②リーダーシップに必要な要素
　③リーダーシップを発揮するためにどう行動するか
　④ケーススタディ(アンガーマネジメント･抗ストレスカ)
5．受講者による2分間スピーチ

サブリーダー研修

【令和5年9月13日】
(内容)
1．理事長訓話
2．人材育成計画について
3．先輩職員と語ろう
4．若手社員戦力化
　講師:㈱九州経済研究所　　野中 千尋 氏
　①自分の現状を見つめる　②あなたは期待されている
　③業績に貢献し、自分自身の価値をさらに高めるためには
　④成長のためのステップアップを考える　⑤これからも輝き続けるために
5．受講者による1分間スピーチ

新任職員(2年目)フォローアップ研修

【令和5年9月29日】
(内容)
1．理事長訓話
2．先輩職員と語ろう
3．若手社員戦力化
　講師:㈱九州経済研究所　　野中 千尋 氏
　①自分の現状を見つめる　②あなたは期待されている
　③業績に貢献し、自分自身の価値をさらに高めるためには
　④成長のためのステップアップを考える　⑤これからも輝き続けるために
4．受講者による1分間スピーチ

新任職員(1年目)研修

【令和5年5月16日】
(内容)
1．理事長訓話
2．事業団の概要･服務規律･諸規則等について
令和5年5月17日
事業団　施設見学

新任職員(1年目)フォローアップ研修(予定)

【令和6年2月9日】
1．理事長訓話
2．フォローアップセミナー
　講師:フリーアナウンサー　中村 朋美 氏
3．人材育成計画について
4．1年間の振り返り
　講師:㈱九州経済研究所　江藤 緑 氏
5．受講者による1分間スピーチ

契約職員(1･2年目)研修

【令和5年10月24日】
(内容)
1．理事長訓話
2．事業団の概要等について
3．「報･連･相」徹底術
　講師:(株)九州経済研究所　野中 千尋 氏
　①「報･連･相」はなぜ必要?　②意外と知らない、「報･連･相」それぞれの意味
　③これだけで「報･連･相」上手!
　④「報･連･相」を存分に活用して、仕事を楽しく!　⑤本日の振り返り

特集 地域における公益的な取組を紹介します！

社会福祉法人は、平成28年改正の社会福祉法において地域における公益的な取組を実施することが規定されました。
社会福祉法人が地域における公益的な取組を実施することで、これまで培ってきた専門性やノウハウ、また地域の関係者とのネットワークを活かしながら、積極的に地域づくりに貢献することが期待されています。
今回は、当事業団の４つの施設が実施している地域における公益的な取組について紹介します！

地域における公益的な取組の要件

❶社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること。
❷日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対する福祉サービスであること。
❸無料又は低額な料金で提供されること。

児童養護施設 仁風学園

仁風学園の新園舎には、地域交流スペースがあります。2022年度から2024年度の経営計画の中で、地域福祉の増進のため、地域交流スペースを活用した子育てサロンの実施を重点的取り組みの一つとしています。そこで、来年度から本格的に子育てサロンを実施できるよう、今年度は試行として、11月、1月、2月の第４火曜日にサロンを実施しています。

11月28日の１回目のサロンには、アイシングクッキー作りに６組のご家族が来園されました。栄養士が事前に焼いたクッキーにクリスマスツリーやサンタクロースの絵を描いたり、子ども達には室内の遊具で遊んでもらったりしました。最初は、初めての場所に緊張していたお子さんも徐々に慣れ、楽しんでくれている姿や笑顔を見ることができとても安心しました。また、ある保護者の方からは、「職員の方が子どもを見てくれて、ゆっくり落ち着いてクッキー作りができて嬉しかったです。」と、励みになるお言葉をいただきました。

来年度、活動が軌道に乗り、一人でも多くの参加者を迎えられるよう、残り２回を進めていけたらと思います。
ぜひ、仁風学園子育てサロンにお越しください！

児童養護施設 若葉学園

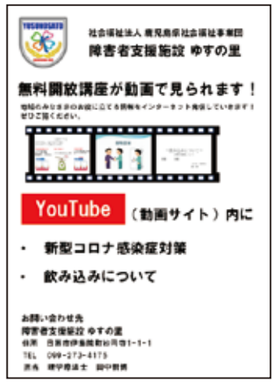
若葉学園では地域の親子を対象に、公益的な取り組みの一つとして子育て講座を開催しています。昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できていませんでしたが、5類感染症に移行したため今年度から再開することとなり、10月24日に子育て講座を開催しました。今回の子育て講座は、地域で未就学児の子育てをされている保護者とお子様を対象に、5組のご家族に参加していただきました。

今回の子育て講座では、姶良市で保育士をされており、アロマセラピーの資格をお持ちの東郷先生を講師にお呼びし、アロマバスボム作りをしました。部屋いっぱいにアロマの華やかな香りが漂い、子どもも大人も心がホッとする癒しの時間となりました。他に若葉学園の職員によるペープサートやわらべ歌で皆様の緊張をほぐし、最後に茶話会を実施しました。茶話会では講師の先生や若葉学園職員、参加された他のご家族同士で日頃の育児での悩みなどを話し、共感してもらうことで、いつもは一人で抱え込んでいる育児の大変さを少しは和らげていただけたかと思います。

参加された皆様に「次回も参加したい！」と言っていただき、大変喜んでいただけました。子ども達の食事について悩んでいらっしゃる方が多かったため、次回開催する際にはご意見を活かしていきたいと思います。
次回もたくさんの方の参加をお待ちしています！

障害者支援施設 ゆすの里

ゆすの里では、公益的な取組として、平成27年度から地域のみなさまを対象に無料開放講座と題して、専門職による公開講座を月替わりで実施してきました。地域にお住いの幅広い年代の方に参加していただけるよう、ゆすの里の専門職員が専門知識を活かした講座を開催しています。


社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
障害者支援施設 ゆすの里

無料開放講座が動画で見られます！

地域のみなさまのお役に立てる情報をインターネット発信していきます！
ぜひご覧ください。

YouTube（動画サイト）内に

- 新型コロナ感染症対策
- 飲み込みについて

お問い合わせ先
障害者支援施設 ゆすの里
住所　日置市伊集院町妙円寺1-1-1
TEL　099-273-4175
担当　理学療法士　田中敦嗣

ここ数年は新型コロナウイルス流行により、集合型の講座は実施できずにいましたが、令和３年度からは動画閲覧サイトを活用し、動画配信形式で無料開放講座を実施しています。

理学療法士による健康生活の啓発や車椅子等の補装具の申請方法、作業療法士による利き手交換の有用性や親子を対象としたヒンメリ※づくりの解説、言語聴覚士による食べ物を飲み込む機能の説明、看護師によるご家庭で取り組める感染予防対策など、合計10本の動画を公開し、総再生回数は2,000回以上となっています。

今後の課題として、地域の皆様がゆすの里にお越しいただけるよう、公開講座形式の再開を検討しています。

これからも、地域の福祉ニーズを踏まえ、幅広く興味をもっていただけるような内容にしていくことで、地域に貢献していきたいと考えています。

ゆすの里 YouTubeチャンネル

チャンネル登録・グッドボタンをよろしくお願いいたします！

※ヒンメリ…フィンランドの伝統的な冬の祭りの装飾品

障害者支援施設 川内自興園

川内自興園の就労継続支援B型事業所では、地域における公益的取り組みの一環として、地域の皆様とのつながりを強化することを目的に、今年度より『コミュニティ講座』を開講しています。今年度は、川内自興園の特色の一つである花苗や野菜の生産を活かし、季節に合った様々な取り組みを地域の皆様に提供しています。

7月には、夏野菜の収穫祭を開講し、13家庭47名の方が参加されました。川内自興園の利用者の方々が一生懸命に育てたナスやミニトマト、ピーマン等を袋いっぱいに収穫し、皆さんの満足そうな笑顔が見られました。野菜が生っている様子を見たり、自分の手で収穫し感触を確かめたりすることで、「普段食べている野菜はどのように作られているのか」等を知り、生きた学びになったと思います。

今後は、ハンギング寄せ植え※体験等を予定しています。普段とはまた違った寄せ植えを作る体験をしていただけたらと思います。

これからも川内自興園の専門性や特色を生かして、地域の方々が気軽に参加でき、楽しく交流が図れるような講座を計画していきたいです。

※ハンキング寄せ植え…引っかけたり、吊したりして、空間に飾る寄せ植え

ねっとわーく

施設の窓から

児童養護施設
仁風学園
下花棚町内運動会

10月1日に3年ぶりに行われた「下花棚町内運動会」に初めて地域小規模児童養護施設ホープの子ども達が参加しました。前日に町内の方々が会場作りをして下さり、公園に着くといつも遊んでいる場所がすっかり運動会会場に変わっているのを見て、子ども達のワクワク感も増していたようでした。また、川上小学校の校長先生や教頭先生も来られ、お2人の姿が見えると子ども達も大喜び。競技に参加されている時には大きな声援を送っていました。

プログラムは、輪投げや玉入れ、自転車の車輪回しなど昔懐かしい競技種目が実施され、また、地域のご年配の方々も参加されていたこともあり、運動会はのんびりと温かい雰囲気の中で進んでいきました。子ども達も自分の出番が来るとテントから嬉しそうに飛び出して行き、元気いっぱい競技に参加していました。玉入れや綱引き等では、地域の方々と一緒に力を合わせ子ども達も楽しんでいて、その姿は何とも言えない良い光景で、日頃はなかなか味わえない貴重な体験だったように思います。また、地域の方々と一緒にお弁当を食べたり話をしたりする中で、皆さんの優しさも感じることができたのではないかと思います。

子ども達の人数が少なく高齢化が進む中で、色々な年代の方々が地域を盛り上げようと頑張っている姿に触れ、下花棚地区の雰囲気の良さが伝わってきました。子ども達にとっても幅広い年代の方々と関わりながら、地域の中で育っていくことはとても大事で沢山の学びがあると思います。今後も積極的に行事等にも参加し、地域の方々との交流を大切にしていきたいと、改めて思った1日でした。

●児童指導員：茶園 悦子

保育所
同胞保育園
初めての和太鼓演奏

11月11日、県民交流センターで、生活発表会が開催され、初めてオープニングとして、さくら組(年長組)の6名の子ども達が和太鼓演奏を行いました。

演奏で使用した和太鼓は、平成16年度卒園生のプロゴルファー、勝みなみさんから寄付していただきました。

子ども達は練習が始まる前は、初めて見る太鼓に驚いていましたが、実際に自分達で演奏する音を聞いて、やる気に満ち溢れていました。

練習期間中は、川内自興園の野口園長から基本の叩き方等たくさんのことを指導していただきました。いざ練習を始めると、全員で音を合わせることやリズムを覚えることにとても苦戦しました。また、「疲れた」や「難しい」等の言葉もあり、上手く叩けなかった時には、悔しくて涙ぐむ場面もありました。できるようになると自分から太鼓を叩いたり、練習以外でも、腕を動かしたりと楽しそうに取り組む様子がありました。

今年は、4年振りとなる人数制限のない生活発表会でした。そのため、たくさんの保護者の方々が観に来られ、子ども達も緊張している様子でしたが、いざ始まると堂々とした表情で迫力のある演奏を披露することができました。終わった後は、沢山の温かい拍手をいただき、達成感でいっぱいになりました。

初めての経験を通して、また一つ子ども達の自信に繋がる機会となりました。

●保育士：松永 春香

児童養護施設
若葉学園
コロナ前の日常へ
～子ども達の笑顔いっぱい～

ここ数年新型コロナウイルス感染症拡大防止により、なかなか思うように行動できず、行事も縮小され、児童は寂しい思いをしていました。今年の5月8日以降は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したこともあり、若葉学園での制限も段階を経て緩和していきました。

今年の夏は、1日外出やキャンプを実施することができ、幼児から高校生、職員までとびっきりの笑顔で行事を楽しんでいる姿が見られました。久しぶりのキャンプを全力で楽しむ児童、今回が初めての経験となった児童等、それぞれがとても良い笑顔で過ごしており、私達職員もとても嬉しくなりました。

今年度は小・中学校の運動会も数年ぶりに1日開催となり、少しずつコロナ前の日常に戻ってきています。今後も未知のウイルスが流行することも考えられますが、児童のきらきらした笑顔を増やしていけるように、そして楽しく、健康で過ごせるよう支援していきたいです。

●児童指導員：立山 剛吉

保育所
鹿児島みなみ保育園
笑顔が溢れる場を目指して

ここ数年の保育現場では、コロナ禍でなかなか思うように保育の提供や支援が行えずにいました。

5月に、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、子ども達や保護者の方々との距離がぐっと縮まり、“嬉しい”や“楽しい”等を大きな口をあけて笑顔で表現でき、互いに共感できるようになりました。

時には保護者の方々からの“大変”“困った”といった悩みもありのままの表情を捉え、一緒に考え支援していく事ができる日常を取り戻し、何気ない会話や、やり取りができる事に喜びを感じる日々を送っています。

色々な事が緩和され、にこにこランドも人数制限を設けず、未就学児を対象に親子が安心して集える場の提供に取り組んでいます。県外より引っ越して来られた方や、お子さんが保育園に通園しておらず関わりを求めて遊びに来られる方等、様々な環境で過ごしている参加者が子育ての不安や悩みを少しでも軽減できるよう温かな雰囲気づくりを心掛けています。参加者同士で意見交換をする事により、普段気になっている悩みを話し、自分だけではないと安心する機会となっています。

活動では、水遊びや講師を招いたバルーンアート、ミニ運動会ごっこなどを実施してきました。利用者の方々が楽しそうに笑う声、にこやかな表情を間近で見て、温かなこの空間を大切に、これからも一緒に子育てのお手伝いをしていきたいと思います。

●主任保育士：千代森 葵

ねっとわーく

施設の窓から

障害者支援施設
ゆすの里

すまいるおでばい

9月28日、暦の上では秋ですが、夏のような日差しの中、園外へのお出かけ行事である『すまいるおでばい』を実施しました!

目的地は、江口蓬莱館・こだわりとんかつ味工房みその・ジェラート工房Pace。利用者8名、職員4名で車に乗り込み出発です!

まずは江口蓬莱館。トイレ休憩のための立ち寄りでしたが、目の前に広がる青い海、心地よく吹く風。「久しぶりに海を見た。」「潮の匂いがする。気持ち良いね。」と癒される時間

となりました。続いて、こだわりとんかつ味工房みその。それぞれ注文されたメニューが運ばれてきます。エビフライやマグロかつが乗っていたり、ジャンボサイズのとんかつだったり、みんなお腹いっぱいになりました!最後はジェラート工房Pace。先ほどお腹いっぱいになったはずですが、甘いものは別腹。チョコ、ラムレーズン、バナナ等、気になる味を選び、テラスでデザートタイム。気温が高かったこともあり、冷たいジェラートがより一層美味しく感じられました。

帰園後、「楽しかった。行って良かった。」「次はいつ行くの。」等、嬉しい言葉や『すまいる』をたくさんいただきました。メンバーを変えて、今年度の『すまいるおでばい』はまだまだ続きます。次はどこに行こうかなと利用者の方々と一緒に計画中です。

●支援員：田尻 未来

障害福祉サービス事業
リハステーションゆす

「よか余暇サタディ」を始めました!

リハステーションゆすでは、今年度から月1回土曜日を開所し、サービス提供を行っています。「よか余暇サタディ」と題し、普段の訓練とはひと味違った取り組みとして、余暇活動の充実を図ることを目的としています。

参加した利用者の方々に楽しんでいただこうと、担当になった職員は、それぞれ知恵を絞って映画鑑賞やゲーム大会、クリームソーダ作り、近くのスターバックスでコーヒーを飲

んだり、維新ふるさと館へ出向いて鹿児島の歴史を学んだりと、様々な企画を考え実施しています。

開催当初は、少人数の参加でしたが、今では、毎月10名以上の利用者の方々に参加していただいています。利用者の方々から「普段の訓練とは違った事ができて楽しい。」「自分では行かない所に行けてとても嬉しい。」「有意義な休日となっている。」等、好評を得ています。また、普段の利用日では関わることの少ない利用者同士の交流を深めることもできています。笑いの絶えない行事となっており、職員も楽しみにしている行事の一つです。引き続き、よか余暇サタディを通して利用者の方々の意欲や体力の向上、新たな体験や発見の場が図れるよう工夫していきたいと思います。

●支援員：中村 明香音

障害者支援施設
川内自興園

スポーツの熱に華を添える

10月に開催された『燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会』に参加される全国の選手を花で迎え入れたいという思いから、鹿児島県や市町村と協力し、県内の学校や自治会等へ花をリレー形式で届ける事業に、川内自興園も参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年の延期を経て実現し、就労継続支援B型事業所の職員や利用者の方々と共にかごしま国体・かごしま大会に花を通して、関わることができました。

当園のB型事業所では、花苗を種から蒔きつけて育苗を行っています。花苗の種類によってはゴマより小さいサイズの物もあり、利用者の方々も目を凝らしながら一生懸命種を蒔きつけていました。そうして蒔いた種が発芽し、ポットへと移植を行い、移植の際には小さい苗が真っ直ぐになるように調整してから植え付けるため、利用者の方々も丁寧かつ慎重に植え付けを行っていました。種を蒔きつけてから約30日前後で今回のリレーで使われるサイズへと成長していきました。

また、プランターが置かれる棚も、木工クラブ、就労支援の利用者の方々が参加して製作したものです。

出荷の日が迫ると、ある利用者の方が、「僕達が作った花が色々な所で咲くのが楽しみですね。」と話しているのを聞き、利用者の方々

もかごしま国体・かごしま大会の力になっていると感じました。全国から出場される選手の方々を花でお迎えすることができたことは、職員だけでなく利用者の方々にとっても貴重な経験になったと思います。

今後も、たくさんの人に笑顔が届けられるような花苗を利用者の方々と共に作っていきたいと思います。

●支援員：岡元 昌樹

ほくさつ障害者就業
・生活支援センター

自分らしく生きる

ほくさつ障害者就業・生活支援センターでは、障害者の職業生活における自立を図るため、関係機関と連携の下、障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を行っています。また、利用者の方々の活躍や頑張りが、私達職員の日々の支援の糧となり、エネルギーになっています。

先日、利用者の方が、令和5年度鹿児島県

障害者雇用支援・激励大会において、優秀勤労障害者として「県知事表彰」を受賞しました。勤務している会社から、職場での接客対応や挨拶等、模範的な行動であり、従業員として求められていることをしっかり行えていると評価をいただいています。

また、10月に開催された、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」では、当センターの利用者が10名出場しました。企業や関係機関からの激励を受け、大会に向けた練習と仕事を両立しながら競技に臨みました。今回経験した達成感や満足感が、就労を含め様々な活動への大きな自信に繋がるのではないかと感じています。

私達も、それぞれの場所で活躍

し、頑張っている利用者の方々に負けないよう、また、「自分らしく」生きがいのある暮らしを支えることができるよう、支援に努めていきたいと思います。

●主任支援員：日高 昂平

ふくしのおしごと紹介

当事業団では、各施設で様々な職種の職員が働いています。
今回は、里親支援専門相談員と事務兼支援員の一日に密着してみました!

里親支援専門相談員

勤務地 | 児童養護施設 仁風学園・若葉学園

●仁風学園：原田 良範

これまでの経験（児童相談所や児童自立支援施設 若駒学園での勤務）を活かして、大人の常識を子どもに押しつけるのではなく、子どもの気持ちに寄り添った支援ができるよう里親の方々に助言していきたいです。

●若葉学園：上野 梨花

里親制度が整備される中、近年は、『子どもは社会全体で育てていく』という考えが主流になってきており、里親支援についても、関係機関がそれぞれの専門性を活かしながら協働していく、という動きが求められつつあるのを実感しています。

今後も、色々な方々のご指導やご支援をいただきながら、業務に邁進し、里親支援に貢献できるよう尽力していきたいと思います。

■仕事内容

里親支援専門相談員は、国の通知により平成24年度から児童養護施設や乳児院に配置できるようになりました。鹿児島県では、里親（satooya）支援（sien）専門（senmon）相談員（soudanin）の頭文字をとり、通称4Sと言われています。

主な仕事内容は

①里親の新規開拓（里親制度説明会やチラシ配布等の広報活動）
②里親家庭への支援（家庭訪問、電話相談、レスパイトケア、アフターケア等）
③里親研修等の補助
④里親委託の推進

といった支援活動を行っています。

一日のタイムスケジュール

9:00	出勤、メールチェック
9:15	朝礼
9:30	復命作成、訪問記録確認
12:00	昼食
14:30	連絡会
15:00	里親宅家庭訪問
17:00	退勤

事務兼支援員

勤務地 | 障害児通所支援事業 チャイルドクラブあおぞら

●チャイルドクラブあおぞら：西村 拓也

放課後の利用が主のため、学校生活を頑張って疲れて帰ってくる児童やまだまだ元気いっぱいの児童等その日に応じて子ども達の気持ちは様々です。学校での話をしたり、外に出て一緒に活動したり等、子ども達に寄り添った支援を心がけています。

また、制作活動や、身体を動かす活動等を通して、子ども達の「楽しい」「できた」の経験を増やし、子ども達の自信に繋がっていく支援ができるよう、日々の活動プログラムや行事の計画を職員同士連携して作成しています。子ども達の成長を少しでもサポートできるよう頑張ります。

■仕事内容

放課後等デイサービスでは、6歳から18歳までの小・中・高校生を対象に、放課後や夏休み等の長期休暇に子ども一人ひとりに合わせた発達支援を行います。創作活動や表現活動、自立支援を通して、子ども達の発達を支援すると共に、楽しく安心して施設を利用できるよう、子ども達に寄り添った支援を行っています。

また、事務職員の業務として、施設給付費の請求業務や利用者への請求書の作成、伝票の処理・整理、その他関係機関との連絡・調整を行っています。

一日のタイムスケジュール

8:30	出勤
9:30	職員朝礼
9:40	事務業務
12:00	昼食・休憩
13:00	事務業務
15:00	利用児童迎え（小学校）
16:00	利用者支援
16:40	利用児童送迎（自宅）
17:20	日誌入力
17:30	退勤

シリーズ Person 人（ひと）

障害者支援施設
ゆすの里
支援員 草野 春香

①自己紹介をお願いします。

今年度より、障害者支援施設　ゆすの里で勤務しています、草野春香です。学生時代、ボランティア活動や授業を通して、高齢者の方や障害のある方と関わる機会があり、支えになりたいと思いこの仕事につきました。

②今、行っている仕事内容は何ですか?

現在、障害者支援施設の支援員として早出・遅出・平常・夜勤の勤務の中で利用者の方々の個別支援計画に基づいた入浴やトイレ、食事等日常生活の支援を中心に業務にあたっています。利用者の方々と接することが多く、特に失語のある利用者の方々とは、どのようにコミュニケーションを取り、関わっていけば良いのか考えながら業務に励んでいます。

③事業団で働いて半年経って…

初めて経験する事が多く戸惑う事もありましたが、今は支援内容や利用者の方々との関わり方について理解できるようになりました。利用者の方々へより良い支援が提供できるように業務に取り組んでいます。

④休日はどのように過ごしていますか?

休日は、好きなドラマや映画を鑑賞したり、読書をしたりして過ごしている事が多いです。運動の習慣をつけるために散歩に出かける事もあります。季節によって咲く花や風景が違うのでそれを見つける事が楽しみになっています。

⑤先輩方へ一言お願いします!

業務について1から丁寧に教えていただいています。これからも、様々な事に挑戦し吸収したいと考えています。日々成長できるように業務に励んでいきたいと思います。

【インタビュアー】小池 由起子

1日の勤務の流れ（遅出業務）

10:00	出勤 園内清掃・消毒業務 ケアコール対応
11:00	スポーツリハビリ
11:45	昼食支援
13:30	入浴支援
15:30	支援日誌入力、担当利用者の支援、ケアコール対応、郵便物の配布
17:45	夕食支援
18:30	洗面・排泄の支援、ケアコール対応
19:00	退勤

特別全国障害者スポーツ大会に利用者の方々が出場されました!

10月28日～30日に特別全国障害者スポーツ大会が開催され、川内自興園からはソフトボールに7名、ソフトボール投げ・立幅跳に1名の選手が出場しました。

この大会に向け、ソフトボールの選手は4年前より合同チームで練習していました。ソフトボール投げ・立幅跳の選手は、今年の5月の県大会以降、毎月行われる鹿児島県の全体練習に参加し、この大会を目指して頑張ってきました。結果はソフトボールが1回戦で広島県に延長タイブレークの末0対2で惜敗、交流戦では大阪府に4対2で勝利という結果でした。ソフトボール投げでは47m77cmで金メダル、立幅跳が5位という結果でした。

大会後は日々の練習の成果を発揮できた事に、選手の皆さん、嬉しさと安堵が入り混じった表情と、負けた事への悔しさが滲み出ていました。また来年全国の舞台に立てるよう、選手の皆さんは日々練習に取り組んでいきます。

ソフトボール投げ 金メダル
溝口 晃洋さん

その他にも、リハステーションゆすの河野一路さんは、ソフトボール投げに出場し、21m98cmの記録で、見事金メダルを獲得されました!

優秀勤労障害者として県知事表彰を受賞されました!

川内自興園の共同生活援助の利用者には、一般企業で働いている利用者の方々が10名いらっしゃいます。その中の1人、黒岩栄二さんが、令和5年度障害者雇用支援・激励大会において優秀勤労障害者として鹿児島県知事表彰を受賞されました。

黒岩さんは平成25年より、ダイレックスで働いています。業務内容は品出しで、主に飲料コーナーを担当しています。最初は、短時間勤務でスタートし、業務内容や商品を覚える事が大変でしたが、本人の頑張り・努力により、今ではフルタイムで勤務し、ダイレックスでも貴重な戦力となっています。

今回の鹿児島県知事表彰は黒岩さんにとって、就労意欲が高まるのと同時に、今後も他の就労している利用者の方々の模範となるように、努力していこうと励みになったようです。